



市政 PICK-UP

日米キズナのシンボルへ

11月4日、国が米軍に提供し、市と米軍で共同使用する愛宕スポーツコンプレックスの野球場エリアで、オープニングイベントが開催されました。

記念式典では、福田良彦市長が「市民念願の公式戦ができるスタジアムが完成した。これから日米友好のシンボルとして親しまれるようにしたい」とあいさつした後、米軍岩国基地のリチャード・ファースト司令官らと共にテーパーカットやハナミズキの植樹を行いました。

愛宕スポーツコンプレックス オープニングイベント

その後キズナスタジアムで岩国工業高校と米軍基地の高校生で野球の親善試合が行われ、目の前で繰り広げられる熱戦に日米の観客は大きな歓声を上げ、会場は大いに盛り上がりました。

野球場エリアには他にソフトボール場やバーベキュー場、遊具が備えられており、今後日米の「キズナ」がより深まる施設として利用されることが期待されます。

図スポーツ推進課 ☎ 51103
拠点整備推進課 ☎ 51164



福祉は心を込めて

10月18日、シンフォニア岩国で岩国錦ライオンズクラブ主催の「第46回岩国市民文化講座」が開催されました。

講師の杉良太郎氏が「福祉・想いのままに」と題し、中学生の頃から約58年間続けているという刑務所慰問の話や被災地を訪問したときの話などを講演しました。

東日本大震災後にカレーの炊き出しなど支援活動を行おうと被災地を訪れた際、最初は受け



▲開演前。杉氏を一目見ようと、多くの観客が訪れた

市民文化講座

取ってもらえなかったと言います。「被災地の方も状況が激変したことで混乱していた」と当時の状況を振り返り「物に心を乗せて渡すことが大切。福祉は心。気持ちがないと続かないし、相手にも届かない」と話しました。

最後には「明日明後日生きている保証はない。思った通りの人生を歩んでほしい」と観客にエールを送りました。

生涯学習課 ☎ 5210



▲「この講演を聞いて、少しでも福祉に興味を持ってもらえれば」と話す杉氏

地域で連携

安心安全な町へ



▲庁舎内で行われた締結式の様子



▲協定書に署名した福田市長(右)と由宇郵便局の重岡局長

10月11日、市と市内の全郵便局が「地域における協力に関する協定」を締結しました。

この協定は、住民が安心して暮らせる地域社会づくりや地域の活性化のために締結されたものです。

今後は市内の郵便局員が配達中などに、高齢者や子供など住民の何らかの異変や道路の異状、不法投棄が疑われる廃棄物などを発見した際に、市へ情報が提供されます。また郵便局内のスペースを利用して、ポスターの

地域における協力に関する協定締結式

掲示など市内のイベントや観光情報のPRに活用されます。

福田良彦市長は協定について「大変心強く感じている。市民の安心安全に結び付くように連携したい」と協定が担う役割に期待を示し、由宇郵便局の重岡正裕局長は「今後とも地域と歩む郵便局として連携していきたい」と話し、相互連携により地域の安心安全なまちづくりに取り組んでいくことを確認しました。

☎ 総務課 ☎ 5030